

平成17年度 いいたてヘルパーステーション訪問介護事業報告書

1. 基本方針

ご利用者の心身の状況・特性を踏まえ、個々の有する身体能力に応じ、より安心して自立した生活を営むことができるよう、身体介護をはじめ生活援助、その他必要とする支援を提供してきた。また、その家族や介護者に対し、良い介護援助方法を提供し、家庭介護の一部を担うってきた。

2. 重点事業項目

① サービス内容の質の確立

- ・ 定例会等において、様々なケースの介護及び援助方法を話し合い、統一を図ってきた。
- ・ 関連研修に積極的に参加し、フィードバックしてきた。

② ニーズの把握と対応等

- ・ ケアプランに基づき、きめ細かなサービスに心がけてきた。
- ・ ご利用者の抱えているニーズを把握し、出来るだけ解決に向け支援してきた。同様に家族や介護者にも応えてきた。
- ・ なかなか連絡が取りにくい家族や介護者に対し、連絡ノートを活用し、コミュニケーションを図ってきた。
- ・ ニーズ等の内容によっては、各関係機関との連絡調整を図ってきた。

3. 事業内容

・ 身体介護に関すること

(食事介助・入浴介助・排泄介助・清拭・体位変換・衣類の交換・その他必要な身体介護)

生活に関すること

(買い物・調理・掃除・洗濯等)

相談に関すること

(介護に関する相談等)

4. サービスの現況

(1) 派遣世帯(平成18年3月31日現在)

	区分	派遣世帯数	区分	派遣世帯数	合計
介護保険	寝たきり	11	一人暮らし	10	57世帯
	老夫婦	6	痴呆	14	
	その他	16			
村委託	支援費	8			8世帯

(2) 介護保険利用者状況

月	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	身体介護	家事援助	複合	合計	稼働日数	日平均利用数
4	2	7	11	7	2	4	33	288	78	76	442	26	17.0人
5	2	7	11	7	2	3	32	261	87	76	424	26	16.3人
6	3	7	10	9	3	3	35	246	110	80	436	26	16.8人
7	2	9	11	5	5	2	34	249	129	73	451	26	17.4人
8	2	9	11	5	4	3	34	249	130	81	460	27	17.0人
9	2	12	10	6	5	3	38	245	120	80	445	26	17.1人
10	3	11	9	5	6	3	37	270	137	73	480	26	18.5人
11	3	12	10	5	6	2	38	249	116	74	438	26	16.8人
12	3	11	8	5	5	3	35	237	90	76	403	26	15.5人
1	3	9	7	5	4	2	30	243	65	67	375	25	15.0人
2	2	9	8	3	4	2	28	208	69	73	350	24	14.6人
3	2	10	8	4	2	2	28	230	111	78	419	27	15.5人
合 計								2,975	1,242	907	5,124	311	165人

(3) 支援費ホームヘルパー訪問利用者状況（村委託）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均利用数
身体介護	14	24	32	35	36	33	34	35	32	28	12	29	344	28.7人
家事援助	30	28	28	25	27	25	23	22	22	22	17	23	292	24.3人
合計	44	52	60	60	63	58	57	57	54	50	29	52	636	53.0人

(4) 自宅入浴 入浴申請者 13名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日平均利用数
入浴回数	71	66	56	74	99	84	98	90	89	79	61	71	859	2.8人
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	27	311	

《 評 価 》

概ね計画どおり遂行されていたものの、移動時間において、冬季道路条件等により訪問時間に遅れ、ご利用者にご迷惑をお掛けしたことがあった。また、サービス内容や介護技術については、ミーティングで申し送りを行い質にばらつきが出ないように努めたが、生活援助の掃除や後片付けなどは、多少のばらつきが見られた。これらの観点から次年度は同じ問題を起こさないよう、改善に努めサービス提供に繋げる。

今後、顧客の確保を目指し、訪問介護体験期間を設けるなど、サービス内容を知って頂き、ご利用頂ける活動を展開して行く。

平成 17 年度 いいたてヘルパーステーション訪問入浴介護事業報告書

1. 基本方針

看護職員及び介護職員が、ご利用者個々の身体状況に応じ、適正且つ迅速安全な入浴サービスを提供してきた。

2. 重点事業項目

- ・安全且つ入浴手順の統一を図るため入浴マニュアルを活用し実施してきた。
- ・感染症予防のため、機材の徹底した消毒と感染マニュアルを活用し実施してきた。
- ・入浴にあたっては、精神面の介助として常に楽しい会話に努めてきた。
- ・温泉気分を味わって頂くために、入浴剤の種類を揃え、ご利用者の要望に応えた。

3. 事業内容

入浴提供にあたっては、ご利用者の心身の状況や家族からの聞き取りにより、サービス提供を実施

- ・看護職員によるバイタルチェックや食事摂取の聞き取り等を行い、また、ご利用者の体調不良時や入浴を拒否した場合は、入浴を中止し、清拭・部分浴に変更したりと、常にご利用者や家族と向き合いながら安全な入浴サービスに努めてきた。

4. 利用状況

月	要 支 援	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	合 計	稼働日数	延利用数	1日平均利用数
4	-	-	0	3	3	6	12	18日	37人	2.0人
5	-	-	0	3	2	6	11	22日	34人	1.5人
6	-	1	0	3	3	4	11	20日	33人	1.7人
7	-	1	0	2	2	3	8	16日	26人	1.6人
8	-	-	0	2	2	3	7	17日	26人	1.5人
9	-	-	0	2	2	4	8	17日	31人	1.8人
10	-	-	0	2	2	4	8	17日	33人	1.9人
11	-	-	0	1	3	4	8	15日	24人	1.6人
12	-	-	0	0	3	2	5	13日	18人	1.3人
1	-	-	0	1	3	1	5	16日	21人	1.3人
2	-	1	0	2	2	1	5	16日	19人	1.1人
3	-	-	-	2	2	3	7	24日	24人	1.0人
合 計								195日	326人	1.7人

《 評 価 》

訪問介護と同様に概ね計画とおり遂行されていた。

今年度は、例年になくご利用対象者12名のうち、亡くなられた方が6名、長期入院が3名と、ご利用者が減少していることから、次年度も居宅介護支援事業所と連絡を密にし、新規開拓や、訪問入浴の良さをアピールするため、体験入浴を実施するなど積極的に取り組むことで在宅サービスの一環を担う。